令和6年度 秋田県農業再生協議会 臨時総会

日 時:令和6年12月5日(木)

午後4時から午後5時

場 所:県庁正庁

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 報告事項
 - ① 需要に応じた米生産に関する専門部会等の活動状況について
 - ② 米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針について
 - (2) 協議事項
 - ① 令和6年産米の総括と7年産米に向けた取組方針(案)について
 - ② 令和7年産米の「生産の目安」(案) について
 - ③ 令和7年度産地交付金の県推進枠の設定(案)について
- 4 その他
- 5 閉 会

〔配布資料一覧〕

【資料1】需要に応じた米生産に関する専門部会等の活動状況について

【資料2-1】米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針について

【資料2-2】基本指針の変更のポイント

【資料3】令和6年産米の総括と7年産米に向けた取組方針(案)について

【資料4】令和7年産米の「生産の目安」(案) について

【資料5】令和7年度産地交付金の県推進枠の設定(案)について

需要に応じた米生産に関する専門部会等の活動状況について

平成27年度の設置当初は、生産数量目標廃止に向けた対策の検討が主であったが、廃止となった平成29年度以降、市場原理に基づいた米生産に対応できるよう、秋田米レポートによる情報発信や、需要に応じた米づくりに関する研修会を開催するなど、集荷業者等の意識醸成を図っている。

≪令和6年度の需要に応じた米生産に関する専門部会等の活動状況≫

8月 1日	地域再生協担当者等地域会議
7日、9日	・需給見込みに関する情報提供(秋田米レポート第22号)
	・県域集荷団体からの情報提供(直近の販売動向)
12月11日	地域再生協担当者等地域会議
~12日	・令和6年産米の総括と令和7年産に向けた取組方針について
	・令和7年産米の県の「生産の目安」
	・需給見込みに関する情報提供(秋田米レポート第23号)
	・令和7年度産地交付金県推進枠について
1~2月	専門部会 (研修会)
	調整中
3月	地域再生協担当者等地域会議 (3か所)
	・需給見込みに関する情報提供(秋田米レポート第24号)
	・令和7年産米の事前契約の状況と非主食用米への振り分け依頼

(参考) 前年度活動実績

8月 9日	地域再生協担当者等地域会議
~10日	・需給見込みに関する情報提供(秋田米レポート第19号)
	・地域再生協議会における6年産米に向けた対応等
12月14日	地域再生協担当者等地域会議
~15日	・令和5年産米の総括と令和6年産に向けた取組方針について
	・令和6年産米の県の「生産の目安」
	・需給見込みに関する情報提供(秋田米レポート第20号)
	・令和6年度産地交付金県推進枠について
2月28日	専門部会(研修会)
, ,	・講演「県内農業者の経営行動から見た飼料用米生産と利用」講師: 秋田県立大学
	・事例紹介「飼料用米の多収品種での取組」 秋田みちのく飼料用米生産組合
3月19日	地域再生協担当者等会議
Web会議	・需給見込みに関する情報提供(秋田米レポート第21号)
	・令和6年産米の事前契約の状況と非主食用米への振り分け依頼

米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針

^{令和6年10月} 農林水産省

目 次

第	1	米穀の需給及び価格の安定に関する基本方針 1
第	2	米穀の需給の見通しに関する事項
1		令和 $5/6$ 年の需要実績 ············ 1
		(1) 需要実績の対象期間及び対象米穀
		(2)算出方法
		(3)需要実績(確定値)
2		令和 $6/7$ 年及び令和 $7/8$ 年の需要見通し(推計値) 2
3		令和 $6/7$ 年及び令和 $7/8$ 年の需給見通し 4
		(1) 令和6/7年の需給見通し
		(2) 令和7/8年の需給見通し
第	3	米穀の備蓄の目標数量その他米穀の備蓄の運営に関する事項 5
1		備蓄運営の基本的な考え方 5
2		令和6/7年の備蓄運営
第	4	米穀の輸入数量及びその種類別の数量に関する事項 7
1		令和 5 会計年度の輸入状況 7
2		令和6会計年度の輸入方針 7
参	考	·統計表 ·············· 8

【米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の変更について】

主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律(平成6年法律第 113 号)第4条第1項に基づき、令和6年 7月 30 日に策定した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」を、主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律施行規則(平成7年農林水産省令第 17 号)第1条に基づき見直し、同法第4条第6項により変更するものです。

第1 米穀の需給及び価格の安定に関する基本方針

米穀の需給及び価格の安定を図るため、米穀の需給の適確な見通しを策定し、これに基づき、整合性をもって、米穀の需給の均衡を図るための生産調整の円滑な推進及び米穀の供給が不足する事態に備えた備蓄の機動的な運営を行います。

このうち、米穀の生産調整の円滑な推進については、主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律(平成6年法律第113号)の枠組みの下で、平成30年産以降は、行政による都道府県別の生産数量目標等の配分は行わないこととし、国が策定する米穀の需給の見通し等の情報を踏まえつつ、生産者や集荷業者・団体が中心となって円滑に需要に応じた生産に取り組むとともに、水田の有効活用により自給率向上を図るため、主食用米の需要拡大、米粉用米や飼料用米等の生産・利用の拡大に取り組みます。

また、国が行う備蓄については、米穀の生産量の減少によりその供給が不足する 事態に備え、毎年6月末時点での在庫量100万トン程度を現行の適正水準として保 有します。

第2 米穀の需給の見通しに関する事項

1 令和5/6年の需要実績

(1) 需要実績の対象期間及び対象米穀

米穀の需要実績については、前年7月から当年6月までの1年間について算出することとしています。

また、需要実績の算定の対象となる米穀は、国内で生産された水稲うるち米及び水稲もち米から、需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領(平成26年4月1日付け25生産第3578号農林水産省生産局長通知)第4及び第5で定める加工用米その他主食用に充当されない米穀を除いた米穀(以下「主食用米等」という。)としています。

(2) 算出方法

需要実績は、令和5年産主食用米等生産量、令和5年6月末民間在庫量及び令和6年6月末民間在庫量を基に算出します。

表 1 令和 5/6年の需要実績の算出方法

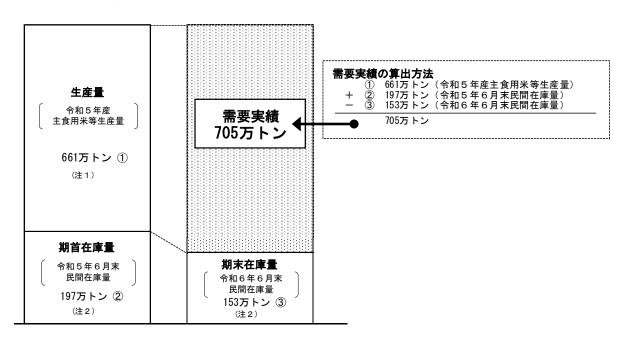
需要実績 = (1) + (2) - (3)

- ① 令和5年產主食用米等生產量
- ② 令和5年6月末民間在庫量
- ③ 令和6年6月末民間在庫量

(3)需要実績(確定値)

前記方法により算出した令和5/6年(令和5年7月から令和6年6月までの1年間)の需要実績(確定値)は、図1のとおり705万トンとなります。

図1 令和5/6年の需要実績



注1:主食用米等生産量は、令和5年産水稲の収穫量(主食用)(「作物統計」農林水産省大臣官房統計部)である。

注2:6月末在庫量は、玄米の取扱数量が年間500トン以上の届出事業者の在庫量に水稲を作付けした生産者の在庫量(推 計値)を加えたものである。

注3:ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

2 令和6/7年及び令和7/8年の需要見通し(推計値)

需要見通しについては、我が国の人口が減少局面に入ったことを踏まえ、平成30年11月の米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針(以下「基本指針」という。)において採用した、1人当たり消費量(推計値)に人口(推計値)を乗じる手法により、算出することとします。

具体的には、

- ① 平成8/9年から令和5/6年までの需要実績をそれぞれ当該年の人口で除し、 各年の1人当たり消費量を算出
- ② ①で算出した値を用いたトレンド(回帰式)で、令和6/7年(令和6年7月から令和7年6月まで)及び令和7/8年(令和7年7月から令和8年6月まで)の 1人当たり消費量(推計値)を算出
- ③ ②で算出した値に令和6年及び令和7年の人口(推計値)を乗じて算出することとします。結果は図2及び表2のとおりとなります。

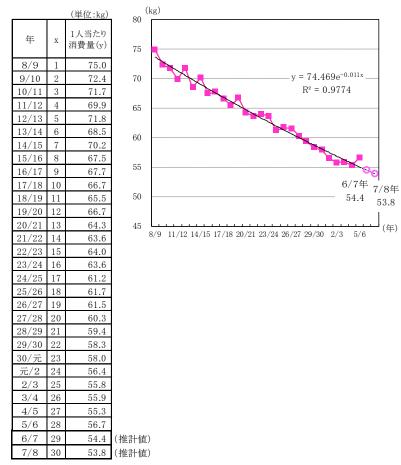
図2 令和6/7年及び令和7/8年の需要見通しの算出方法

① 平成8/9年から令和5/6年 までの1人当たり消費量を算出

	需要	人口	1人当たり
年	実績	Λн	消費量
	1	2	1)/2)
	万トン	千人	kg
8/9	943.8	125,859	75.0
9/10	912.9	126,157	72.4
10/11	907.3	126,472	71.7
11/12	885.9	126,667	69.9
12/13	911.5	126,926	71.8
13/14	872.1	127,316	68.5
14/15	894.7	127,486	70.2
15/16	861.6	127,694	67.5
16/17	865.4	127,787	67.7
17/18	851.7	127,768	66.7
18/19	837.5	127,901	65.5
19/20	854.5	128,033	66.7
20/21	823.6	128,084	64.3
21/22	814.1	128,032	63.6
22/23	820.0	128,057	64.0
23/24	813.3	127,834	63.6
24/25	781.1	127,593	61.2
25/26	786.6	127,414	61.7
26/27	782.5	127,237	61.5
27/28	766.2	127,095	60.3
28/29	754.0	127,042	59.4
29/30	739.6	126,919	58.3
30/元	734.6	126,749	58.0
元/2	714.4	126,555	56.4
2/3	704.0	126,146	55.8
3/4	701.5	125,502	55.9
4/5	691.1	124,947	55.3
5/6	704.9	124,352	56.7
沙. 1 口!		1口揺針1の	

注:人口は、総務省「人口推計」の各年10月1日 現在の値である。

② 令和6/7年及び令和7/8年の1人当たり消費量(推計値) を算出



③ 令和6/7年及び令和7/8年の1人当たり消費量(推計値)に令和6年及び令和7年の人口(推計値)を 乗じて需要見通しを算出

	6/7年	7/8年
1人当たり消費量(推計値)	54.4kg	53.8kg
	6年	7年
人口(推計値)	123,780千人	123,198千人
	6/7年	7/8年
需要見通し ①×②	673.7万トン	663.4万トン

- 注1:人口(推計値)は、令和6年にあっては「人口推計(総務省、令和6年9月公表)」の総人口(令和6年9月1日 現在(概算値)。以下「令和6年9月現在人口」という。)、令和7年にあっては令和6年9月現在人口に「日本の将 来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所、令和5年4月公表)」の令和6年10月1日から令和7年10月1日ま での総人口(出生中位・死亡中位推計)の減少率を乗じて算出した値。
- 注2:図中の需要見通しは、1人当たり消費量(推計値)の実数に、人口(推計値)の実数を乗じて算出した値のため、図中の1人当たり消費量(推計値)(小数点第2位を四捨五入)に人口(推計値)(小数点第1位を四捨五入)を乗じて算出した値とは一致しない。

表2 令和6/7年及び令和7/8年の需要見通し(推計値)

令和6/7年	674 万トン
令和7/8年	663 万トン

3 令和6/7年及び令和7/8年の需給見通し

(1) 令和6/7年の需給見通し

令和6/7年の需給見通しは、表3のとおりです。

① 供給量

ア 令和6年6月末の民間在庫量(確定値)は、153万トンです。

イ 令和6年産主食用米等の生産量は、683万トン(令和6年9月25日現在の 令和6年産水稲の予想収穫量(主食用))です。

ウ この結果、令和6/7年の主食用米等の供給量の合計の見通しは、836万トンとなります。

② 需要量

令和6/7年の主食用米等の需要量の見通しは、2により算出した674 万トンです。

③ 令和7年6月末の民間在庫量

令和7年6月末の民間在庫量は、①の供給量及び②の需要量から算出して 162万トンと見通されます。

(2) 令和7/8年の需給見通し

令和7/8年の需給見通しは、表3のとおりです。

① 供給量

ア 令和7年6月末の民間在庫量は、(1)の③により162万トンと見通されます。

イ 令和7年産主食用米等の生産量の見通しは、令和6年産の生産実績(令和6年9月25日現在の令和6年産水稲の予想収穫量(主食用))と同水準の683万トンと設定します。

ウ この結果、令和7/8年の主食用米等の供給量の合計の見通しは、846万トンとなります。

② 需要量

令和7/8年の主食用米等の需要量の見通しは、2により算出した663万トンです。

③ 令和8年6月末の民間在庫量

令和8年6月末の民間在庫量は、①の供給量及び②の需要量から算出して 182万トンと見通されます。

表3 令和6/7年及び令和7/8年の主食用米等の需給見通し

(単位: 万トン)

令	令和6年6月末民間在庫量	A	153
和	令和6年產主食用米等生產量	В	683
6	令和6/7年主食用米等供給量計	C = A + B	836
7	令和6/7年主食用米等需要量	D	674
年	令和7年6月末民間在庫量	E = C - D	162

令和7/8年	令和7年6月末民間在庫量	E	162
	令和7年産主食用米等生産量	F	683
	令和7/8年主食用米等供給量計	G = E + F	846
	令和7/8年主食用米等需要量	Н	663
	令和8年6月末民間在庫量	I = G - H	182

注1:上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、第4の2のSBS方式による輸入米は含まれない。

注2:ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

第3 米穀の備蓄の目標数量その他米穀の備蓄の運営に関する事項

1 備蓄運営の基本的な考え方

国が行う備蓄については、米穀の生産量の減少によりその供給が不足する事態に備え、必要な数量の米穀を在庫として保有することとされていることから、毎年6月末時点での在庫量100万トン程度を現行の適正水準として、需給状況を踏まえつつ必要な数量の米穀を保有することとします。

備蓄運営手法については、平成23年度から棚上備蓄方式に移行しました。 棚上備蓄方式による備蓄運営の基本的な考え方は、

- ① 適正備蓄水準は100万トン程度(6月末)
- ② 国内産米を一定期間(5年間程度)備蓄
- ③ 備蓄米の買入れは、出来秋の市場価格に影響を与えないよう事前契約によることを基本に、公正性・透明性を確保する観点から、一般競争入札により実施

また、「総合的なTPP等関連政策大綱」(平成29年11月24日TPP等総合対策本部決定)に基づき、環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(平成30年12月30日発効。以下「CPTPP協定」という。)に基づく豪州に対する国別枠の輸入量に相当する量の買入れを行う(なお、当該買入れは、その前年の1月から12月までに豪州から実際に輸入した数量に相当する

量の当年産米に係る事前契約により行うものとする。上記に即して備蓄運営が行われた場合の基本的な買入数量は、20万トンから21万トンまでの範囲となる。)。

④ 備蓄米は、備蓄後に飼料用等の非主食用として販売

なお、加工原材料用販売(従来から販売している備蓄米のうち精米形態で保管する米穀の販売を除く。)については、前年産の加工原材料用の国内産米の供給量が大きく減少し、米加工品製造業者による当年産への切替えの前倒し及び第4のミニマム・アクセス米への代替が行われてもなお端境期の供給が不足すると認められる場合において、当年8月以降の入札により行うものとする。

⑤ 大凶作や連続する不作などにより、民間在庫が著しく低下するなどの米が不足する時における備蓄米の放出については、食料・農業・農村政策審議会食糧部会において、放出の必要性に関し、作柄、在庫量、市場の状況、消費動向、価格及び物価動向等について総合的な観点から議論を行い、これを踏まえて、農林水産大臣が備蓄米の放出等を決定

としています。

他方、毎年11月30日までに行う基本指針の見直し後、不作以外の災害等による緊急事態により、主食用米等の需給見通しに沿った「主食用米等供給量」の確保に支障が生じる場合であって、農林水産大臣が必要と認めるときは、その供給量の減少分を備蓄米により代替供給できることとします。

なお、備蓄運営手法については、棚上備蓄方式による備蓄運営や、経営所得安定 対策の実施状況など、今後の米穀の需給をめぐる状況を踏まえつつ、毎年検証を行 い、適正かつ効率的な備蓄運営に向けて、今後とも必要な見直しを行うものとしま す。

2 令和6/7年の備蓄運営

令和6年産米の備蓄米としての買入契約数量は17万トンとなりました。

備蓄米の年産更新については、適正備蓄水準が100万トン程度(6月末)であることを踏まえ、保有期間が一定の期間を経過している米については、必要に応じて品質確認を行い、9万トンから17万トンまでの範囲内で非主食用に販売することとします。

以上を踏まえた令和6/7年の備蓄運営は、表4のとおりです。

表4 令和6/7年の備蓄運営

(単位: 万トン)

令和6年6月末備蓄量	A	91
令和6年産米買入契約数量	В	17
令和6/7年非主食用販売量	С	9~17
令和7年6月末備蓄量	D = A + B - C	91~99

第4 米穀の輸入数量及びその種類別の数量に関する事項

我が国は、平成7年度からガット・ウルグァイ・ラウンド農業合意に基づくミニマム・アクセス米の輸入を実施しており、この輸入は、「ガット・ウルグァイ・ラウンド農業合意の実施に伴う農業施策に関する基本方針」(平成5年12月17日閣議了解)の趣旨を踏まえつつ行うこととしています。また、これに加えて、平成30年度からCPTPP協定に基づく輸入を実施しています。いずれの輸入に当たっても、輸出国の輸出余力、国際相場等を勘案しながら適切に行うこととしています。

1 令和5会計年度の輸入状況

令和5会計年度においては、令和5年3月の基本指針に基づき、ガット・ウルグァイ・ラウンド農業合意に基づく77万玄米トン(うちSBS(売買同時契約)方式による輸入10万トン)及びCPTPP協定に基づく6,720トン(SBS方式により運用する豪州に対する国別枠)の輸入を実施すべく、順次買付けを行いました。その結果、ガット・ウルグァイ・ラウンド農業合意に基づく輸入について全量(うちSBS方式による輸入7万トン)を買い付けるとともに、CPTPP協定に基づく輸入については6,198トンを買い付けました。

2 令和6会計年度の輸入方針

令和6会計年度の輸入予定数量は、ガット・ウルグァイ・ラウンド農業合意に基づく輸入については、WTO農業交渉において新たな合意ができるまではミニマム・アクセス数量は平成12年度の水準が維持されることから、年間77万玄米トンとし、そのうちSBS方式による輸入については、予定数量を年間10万トンとします。また、CPTPP協定に基づく輸入については、SBS方式により運用する豪州に対する国別枠として、予定数量を年間6,960トンとします。

参考統計表

参考統計表目次

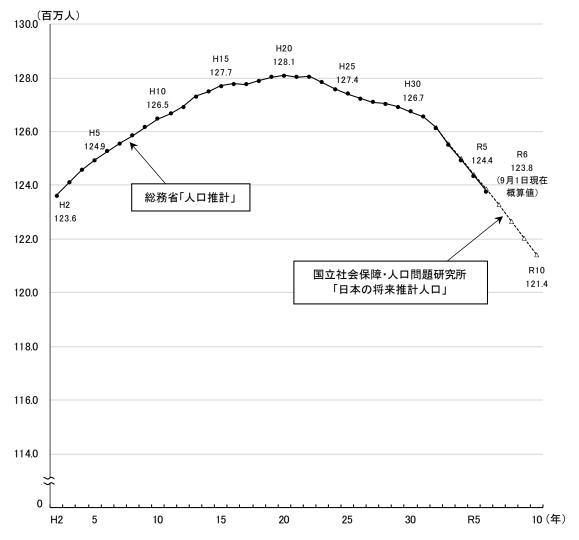
1	1 世帯当たりの米の購入数量(二人以上の世帯)	. 8
2	我が国の人口の推移(各年 10 月 1 日現在)	. 9
3	令和6年産水稲の作付面積及び予想収穫量(9月25日現在)	10
4	民間流通における6月末在庫の推移	11
5	政府備蓄米の6月末在庫の推移	12
6	政府備蓄米の在庫の状況(令和6年6月末現在)	13
7	ミニマム・アクセス米の販売状況(平成7年4月から令和5年10月末まで)	14
8	平成 26/27 年から令和 5 / 6 年までの需要実績	15

1 1世帯当たりの米の購入数量(二人以上の世帯)

,					
年	月	購入数量(kg)	対前年同月比(%)		
2022	1	3.95	100.8		
(令和4)	2	4.14	100.5		
	3	4.65	93.2		
	4	4.54	94.4		
	5	4.38	89.8		
	6	4.28	90.5		
	7	4.35	100.7		
	8	4.35	85.5		
	9	6.03	96.3		
	10	7.24	97.6		
	11	4.59	89.6		
	12	4.85	92.9		
2023	1	3.72	94.2		
(令和5)	2	4.06	98.1		
	3	4.25	91.4		
	4	4.51	99.3		
	5	4.45	101.6		
	6	4.23	98.8		
	7	4.39	100.9		
	8	4.44	102.1		
	9	6.06	100.5		
	10	6.75	93.2		
	11	4.49	97.8		
	12	5.29	109.1		
2024	1	3.52	94.6		
(令和6)	2	3.92	96.6		
	3	4.49	105.6		
	4	4.38	97.1		
	5	4.87	109.4		
	6	4.64	109.7		
	7	4.37	99.5		
	8	5.73	129.1		

資料:総務省 家計調査

2 我が国の人口の推移(各年10月1日現在)



注:将来推計人口は、出生中位・死亡中位推計の値である。

令和6年産水稲の作付面積及び予想収穫量(9月25日現在) 3

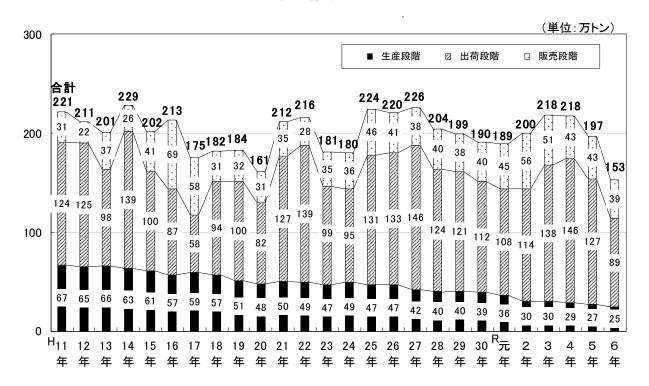
作付面積(青刈り面積を含む。)													
全国							10 a 当たり		農家等が使				
	都道府県 実数		実 数		前年産との	比較	予想収量	最も多い 使用割合	かるい日 10 a 当たり 予想収量	幅で選別 10 a 当たり 平年収量	作況指数	主食用作付面積	予想収穫量(主食用)
				対	差	対 比	①	の目幅 ②	3	4	5=3/4	6	7=0×6
			ha		ha	%	kg	mm	kg	kg		ha	t
全 北 湘	毎 道	(1) (2)	1, 514, 000 102, 800	Δ	17, 000 1, 100	99 101	544 586	1. 90	521 563	513 544	102 103	1, 259, 000 83, 700	6, 833, 000 490, 500
青	森	(3)	48, 700	Δ	600	99	623	1. 90	598	578	103	37, 200	231, 800
岩	手	(4)	52, 800	Δ	500	99	570	1. 90	547	517	106	43, 100	245, 700
官	城	(5)	73, 000	Δ	500	99	584	1. 90	551	516	107	58, 400	341, 100
秋	田	(6)	88, 000	Δ	500	99	583	1. 90	554	542	102	72, 200	420, 900
山福	形島	(7)	66, 800 70, 800	Δ	600 500	99 99	583 571	1. 90 1. 85	553 552	570 534	97 103	52, 400 56, 500	305, 500 322, 600
施	城	(8)	73, 500	Δ	800	99	544	1. 85	525	506	103	59, 900	325, 900
栃	木	(10)	66, 900	Δ		98	543	1. 85	523	515	102	49,000	266, 100
群	馬	(11)	16, 000	Δ	200	99	509	1. 80	492	482	102	12, 800	65, 200
埼	玉	(12)	31, 800	Δ	400	99	490	1. 80	475	479	99	28, 400	139, 200
千	葉	(13)	58, 600	Δ	600	99	569	1. 80	559	533	105	48, 300	274, 800
東神	京	(14) (15)	107 2, 850	Δ	4 20	96 99	419 493	1. 80 1. 80	409 475	404 475	101 100	107 2, 840	448 14, 000
新	温	(16)	119, 800	Δ	600	100	537	1. 85	515	524	98	101, 400	544, 500
富	Ш	(17)	37, 400	Δ	400	99	540	1. 90	515	519	99	31, 200	168, 500
石	Л	(18)	22, 900	Δ	1,700	93	524	1. 90	498	498	100	21, 200	111, 100
福	井	(19)	25, 200	Δ	300	99	531	1. 90	494	483	102	21, 900	116, 300
山	梨	(20)	4, 720	Δ	70	99	538	1. 85	512	516	99	4, 590	24, 700
長	野阜	(21)	30, 900 24, 200	Δ	400 300	99 99	620 484	1. 85 1. 80	602 474	599 475	101 100	29, 000	179, 800 94, 900
岐 静	早岡	(22)	15, 600	Δ	900	95	510	1. 85	491	475	98	19, 600 14, 400	73, 400
愛	知	(24)	27, 600	Δ	400	99	499	1. 85	481	484	99	25, 000	124, 800
Ξ	重	(25)	27, 100	Δ	900	97	486	1. 85	469	478	98	24, 500	119, 100
滋	賀	(26)	30, 300	Δ	300	99	517	1. 90	484	483	100	27, 400	141, 700
京	都	(27)	13, 900	Δ	200	99	522	1. 85	504	492	102	13, 000	67, 900
大	阪	(28)	4, 300	Δ	150	97	511	1. 80	494	478	103	4, 290	21, 900
兵奈	庫良	(29) (30)	35, 700 8, 070	Δ	300 280	99 97	496 525	1. 85 1. 80	473 512	478 500	99 102	32, 200 7, 960	159, 700 41, 800
	(R)	(31)	5, 690	Δ	100	98	505	1. 80	499	491	102	5, 680	28, 700
鳥	取	(32)	12, 900	Δ	200	98	499	1. 85	486	495	98	11, 600	57, 900
島	根	(33)	17, 500	Δ	200	99	508	1. 90	485	484	100	15, 700	79, 800
岡	山	(34)	29, 700	Δ	400	99	527	1. 85	501	499	100	27, 200	143, 300
広	島	(35)	21, 700	Δ	500	98	539	1. 85	528	508	104	20, 100	108, 300
油徳	口 島	(36)	18, 300 10, 800	Δ	300 200	98 98	517 470	1. 85 1. 80	493 462	481 462	102 100	15, 800 9, 790	81, 700 46, 000
	胡栽培	(38)	4, 350	Δ	50	99	454	1. 80	447	453	99	9, 790	40,000
		(39)	6, 410	Δ	200	97	480	1. 80	472	467	101		
香	Л	(40)	10, 400	Δ	300	97	492	1. 80	475	479	99	9, 770	48, 100
愛	媛	(41)	13, 300	Δ	100	99	509	1. 80	493	482	102	12, 700	64, 600
高	知	(42)	11, 600	Δ	200	98	460	1. 80	449	445	101	10, 100	46, 500
	朝栽培 画栽培	(43) (44)	6, 740 4, 900	Δ	130	98 100	487 424	1. 80 1. 80	479 411	470 413	102		
福	田萩培岡	(44)	37, 100	Δ	300	99	424	1. 80	411	413	98	32, 200	154, 900
佐	賀	(46)	25, 400		100	100	504	1. 85	473	487	97	22, 000	110, 900
長	崎	(47)	11, 100	Δ	600	95	484	1. 80	464	465	100	9, 360	45, 300
熊	本	(48)	40, 500	Δ	300	99	531	1. 85	496	479	104	28, 800	152, 900
大	分	(49)	22, 600	Δ	400	98	511	1. 85	465	454	102	17, 800	91,000
宮田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	相 ## ##	(50)	22, 800 7, 580	۸	0 400	100 95	490 470	1. 80 1. 80	475 461	482 471	99 98	12, 400	60, 800
	朝栽培 画栽培	(51) (52)	15, 200	Δ	300	102	502	1. 80	484	471	98		
鹿り		(53)	22, 000	Δ	200	99	492	1. 80	476	470	101	15, 600	76, 800
	明栽培	(54)	6, 320	Δ	140	98	446	1. 80	437	452	97		
	重栽培	(55)	15, 600	Δ	100	99	505	1. 80	488	476	103		
沖	縄	(56)	643		42	107	322	1. 80	314	305	103	557	1, 790
	一期稲	(57)	445	Δ	7	98	366	1. 80 1. 80	360	343 182	105		
第二	二期稲	(58)	198		49	133		1.80		162			

資料:農林水産省調べ

- 注1:作付面積(青刈り面積を含む。)とは、青刈り面積を含めた水稲全体の作付面積である。
 - 2:10a当たり予想収量(①)及び予想収穫量(主食用)(⑦)は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 - 3:10a 当たり予想収量(③)、10a 当たり平年収量(④)及び作況指数(⑤)については、都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふ るい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。 4:主食用作付面積とは、作付面積(青刈り面積を含む。)から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積(9月15日時点)を除いた面積

 - 5:予想収穫量(主食用)については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
 - 6:徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、作期別の備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。
 - 7:沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の $10\,a$ 当たり予想収量及び予想収穫量 (主食用) の算出は、 第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

4 民間流通における6月末在庫の推移

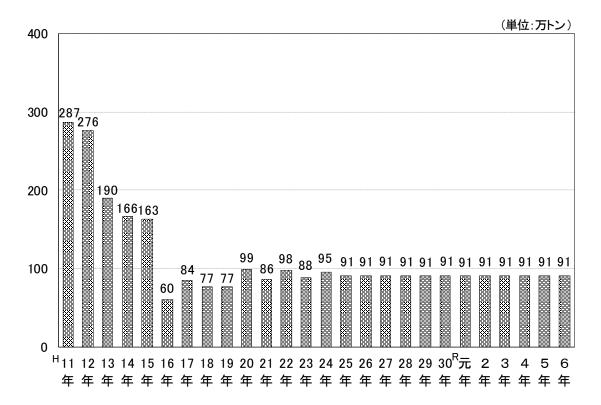


資料:農林水産省調べ

注1:うるち玄米及びもち玄米の値である。

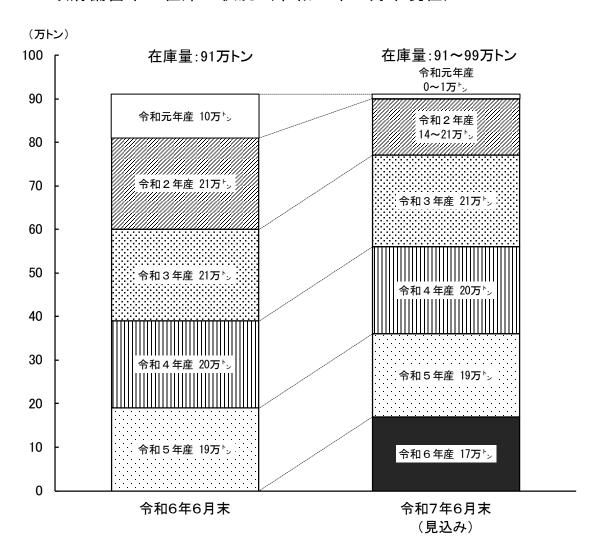
- 2:各年の民間在庫量において、
- ① 平成16年以降については、年間玄米取扱数量500トン以上の業者(販売・出荷段階)の数量である。
- ② 平成 15 年については、
 - ・ 販売段階の在庫量は、年間玄米取扱数量 500 トン以上の旧登録卸売業者と 1,000 トン以上の旧登録 小売業者の数量である。
 - ・ 出荷段階の在庫量は、年間玄米取扱数量 500 トン以上の業者の数量である。
- ③ 平成14年以前については推計値であり、
 - ・ 販売段階の在庫量は、卸在庫量に小売在庫量(推計)を加えた数量である。
 - ・ 出荷段階の在庫量は、系統在庫量に非系統在庫量(推計)を加えた数量である。
- ④ 生産段階の在庫量は、平成11年~平成21年は「生産者の米穀現在高等調査」を基に算出した在庫量から精米在庫量(推計)を控除した玄米在庫量であり、平成22年~平成30年は「生産者の米穀在庫等調査」を基に算出した在庫量である。令和元年は「生産者の米穀在庫等調査」の見直しに伴い、過去のデータを用いたトレンドで算出した数量である。令和2年~令和4年は「生産者の米穀在庫等調査」の対前年増減率等を基に算出した在庫量である。令和5年は「生産者の米穀在庫等調査」の見直しに伴い、過去のデータを用いたトレンドで算出した数量である。令和6年は「生産者の米穀在庫等調査」の対前年増減率等を基に算出した在庫量である。
- 3: 平成 26 年の出荷段階の在庫量は、公益社団法人米穀安定供給確保支援機構の買入数量 35 万トンを含んでいない。
- 4:ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

5 政府備蓄米の6月末在庫の推移



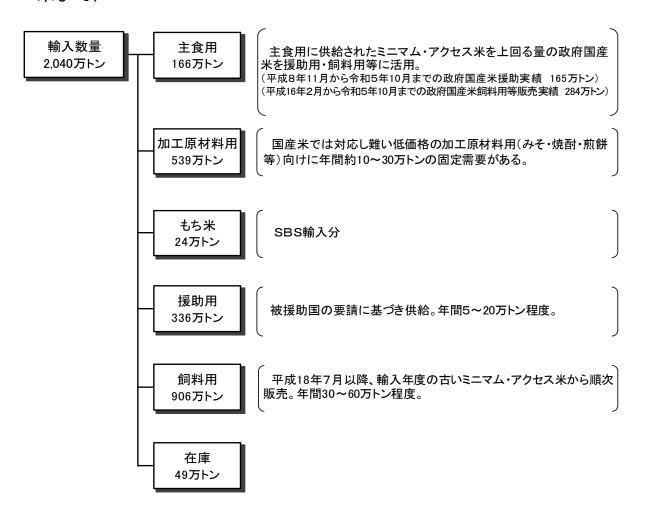
注:国産うるち玄米の数量である。

6 政府備蓄米の在庫の状況(令和6年6月末現在)



- 注1:国産うるち玄米の数量である。
 - 2:令和7年産の買入予定数量は、「備蓄運営の基本的な考え方」に即した場合、 $20\sim21$ 万トンとなる。また、令和8年6月末の政府備蓄米の在庫の状況 (見込み) については、令和2年産は $0\sim2$ 万トン、令和3年産は $14\sim21$ 万トン、令和4年産は20 万トン、令和5年産は19 万トン、令和6年産は17 万トン、令和7年産は $20\sim21$ 万トンの計 $91\sim99$ 万トンとなる。
 - 3:ラウンドの関係で在庫量と内訳が一致しない場合がある。

7 ミニマム・アクセス米の販売状況(平成7年4月から令和5年10月 末まで)



資料:農林水産省調べ

注1:輸入数量は、令和5年10月末時点での政府買入実績である。

注2:上記販売用途のほか、食用不適品として処理した4万トン、バイオエタノール用へ販売した16万トン

がある。

注3:在庫49万トンには、飼料用備蓄35万トンが含まれる。注4:ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

8 平成 26/27 年から令和 5/6 年までの需要実績

〇平成 26/27 年 (平成 26 年 7 月から平成 27 年 6 月まで) 〇平成 27/28 年 (平成 27 年 7 月から平成 28 年 6 月まで)

				(単位:トン)
	26年6月末在庫	26/27年供給量	27年6月末在庫	全体需要量
	10	2	3	4=1+2-3
全 国	2,201,000	7,882,000	2,258,000	7,825,000
北海道	181,679	600,150	212,036	569,793
青森	96,412	257,275	101,438	252,250
岩 手	90,251	288,678	96,607	282,321
宮城	118,383	380,383	161,756	337,010
秋田	134,173	455,503	177,483	412,193
山形	143,100	381,869	154,861	370,108
福島	93,099	350,535	107,739	335,894
茨 城	90,175	396,780	92,391	394,563
栃木	123,453	313,148	128,617	307,983
群馬	26,771	79,384	24,132	82,024
埼玉	19,921	169,614	29,763	159,772
千 葉	72,019	325,733	70,379	327,373
東京	91	661	86	666
神奈川	2,273	15,700	2,407	15,566
新潟	125,405	576,014	129,710	571,709
富山	48,103	192,555	39,179	201,479
石 川	26,473	122,872	30,491	118,854
福井	31,864	125,719	25,368	132,214
<u>山 梨</u>	6,612	27,516	5,882	28,246
長 野	50,983	195,643	49,664	196,962
岐阜	39,114	113,742	35,642	117,214
静岡	14,913	85,578	13,266	87,224
愛 知 三 重	35,271 20,590	143,425	30,998 22,003	147,698 140,655
滋賀	40.033	156.881	33,337	163,577
京都	14,672	75,412	14,685	75,399
大 阪	4.505	27,477	6.341	25,641
兵 庫	36,240	177,508	31,244	182,504
奈良	11,171	46.464	12,116	45,520
和歌山	5,549	35,600	5,061	36,088
鳥取	22,231	65,107	18,980	68,359
島根	23,594	91,737	27,246	88,085
岡山	46,454	153,360	40,253	159,561
広 島	29,399	122,843	25,981	126,260
ΔП	23,895	103,860	24,296	103,459
徳島	9,279	57,667	7,175	59,771
香川	19,060	66,298	15,497	69,861
愛 媛	13,238	73,006	14,398	71,846
高 知	8,702	55,295	5,765	58,232
福岡	39,754	176,323	44,003	172,075
佐 賀	36,520	121,251	37,964	119,807
長崎	11,774	60,963	11,213	61,524
熊本	42,496	180,322	34,299	188,519
大 分	22,270	110,986	20,027	113,229
宮崎	16,667	84,767	11,859	89,575
鹿児島	31,999	102,108	22,122	111,985
沖 縄	34	2,240	72	2,202

〇平成 28/29 年 (平成 28 年 7 月から平成 29 年 6 月まで) 〇平成 29/30 年 (平成 29 年 7 月から平成 30 年 6 月まで)

					(単位:トン)
		28年6月末在庫	28/29年供給量	29年6月末在庫	全体需要量
		1	2	3	4=1+2-3
全	国	2,038,000	7,496,000	1,994,000	7,540,000
北 2	毎道	200.639	545.984	171,252	575,371
青	森	88,661	222,549	83,350	227,860
岩	手	97,495	254,293	90,985	260,803
宮	城	119,697	352,944	121,126	351,515
秋	田	127,748	411,639	125,772	413,615
Щ	形	123,159	345,769	118,490	350,438
福	島	108,662	333,278	129,363	312,578
茨	城	83,154	350,045	67,382	365,816
栃	木	120,442	295,173	97,343	318,271
群	馬	23,002	70,903	21,611	72,293
埼	玉	23,678	154,088	24,355	153,411
Ŧ	葉	50,262	295,727	44,353	301,636
東	京	113	627	95	644
神多	奈川	1,853	15,400	2,388	14,865
新	潟	130,508	593,449	163,221	560,736
富	Щ	44,275	192,258	51,731	184,802
石	川	31,350	123,988	30,344	124,994
福	井	27,982	126,590	29,325	125,247
山	凇	6,000	27,005	6,600	26,405
長	野	42,139	197,665	49,304	190,501
岐	阜	30,114	105,691	26,828	108,977
		11,975	83,164	12,743	82,396
愛	知	28,025	140,194	28,979	139,239
=	重	21,595	141,535	20,381	142,749
滋	草	30,086	161,498	33,327	158,258
京	都	15,874	73,534	15,367	74,041
	阪	6,114	26,778	6,113	26,779
<u>兵</u>	庫	34,791	177,321	36,461	175,650
奈	良	8.427	45,543	9,318	44,652
	改山.	4,099	34,100	2,774	35,425
<u>.</u>	取	18,273	64,860	17,952	65,181
島	根	17,188	91,359	18,353	90,194
岡広	_빛_	35,532 28,644	155,262 124,649	33,381 30,272	157,414
山	- 홈				123,021
		23,355	101,947	22,545	102,756
. 徳.	島川	5,132 12,605	56,499 66,734	5,956 14,052	55,675 65,288
	媛	12,605	71,969	12,640	73,119
高		6,680	53,578	8,621	73,119 51,638
福	岡	40,384	177,386	43,543	174,227
佐	賀	41,230	127,872	36,001	133,101
. 任.	<u>热</u> - 崎	11,788	59,372	10,597	60,563
熊	本	39,523	171,402	44,393	166,533
大		17,489	106,371	18,594	105,266
宮	/-	12.103	76,880	13,518	75,465
鹿!		21,341	97.501	19,847	98,995
- /ES - 2 沖	組	105	2,300	118	2,286

				(単位:トン)
	27年6月末在庫	27/28年供給量	28年6月末在庫	全体需要量
	1	2	3	4=1+2-3
全 国	2,258,000	7,442,000	2,038,000	7,662,000
北海道	212,036	561,244	200,639	572,642
青 森	101,438	230,036	88,661	242,813
岩 手	96,607	270,222	97,495	269,334
宮城	161,756	348,694	119,697	390,753
秋田	177,483	420,919	127,748	470,654
山形	154,861	354,958	123,159	386,659
福島	107,739	342,613	108,662	341,690
茨 城	92,391	345,427	83,154	354,664
析 木 群 馬	128,617	287,162	120,442	295,337
群 馬 玉	24,132 29,763	70,360 151,984	23,002 23,678	71,490 158,069
千 葉	70,379	297,484	50,262	317,601
東京	70,379	632	113	604
神奈川	2,407	15,200	1,853	15,754
新潟	129,710	538,941	130,508	538,143
富山	39,179	192,257	44,275	187,161
石川	30,491	123,235	31,350	122,375
福井	25,368	124,126	27,982	121,513
山梨	5,882	26,854	6,000	26,736
長 野	49,664	194,586	42,139	202,110
岐阜	35,642	106,027	30,114	111,554
静 岡	13,266	81,176	11,975	82,467
愛 知	30,998	137,013	28,025	139,987
三重	22,003	136,109	21,595	136,517
滋賀	33,337	158,090	30,086	161,342
京都	14,685	73,600	15,874	72,411
大 阪	6,341	26,877	6,114	27,104
兵 庫	31,244	178,693	34,791	175,146
奈 良 和歌山	12,116 5,061	45,561 34,400	8,427 4,099	49,249 35,362
鳥取	18,980	63,744	18,273	
島根	27,246	88,060	17,188	64,451 98,117
岡山	40,253	149,387	35,532	154,108
広島	25.981	121,903	28,644	119,240
ш п	24,296	100,710	23,355	101,650
徳島	7,175	53,326	5,132	55,370
香川	15,497	63,439	12,605	66,332
愛 媛	14,398	70,771	13,791	71,378
高 知	5,765	52,911	6,680	51,996
福岡	44,003	172,173	40,384	175,792
佐 賀	37,964	128,276	41,230	125,011
長崎	11,213	59,765	11,788	59,191
熊本	34,299	171,010	39,523	165,786
大 分	20,027	103,682	17,489	106,220
宮崎	11,859	74,828	12,103	74,584
鹿児島	22,122	95,279	21,341	96,060
沖 縄	72	2,320	105	2,287

全体需要量	30年6月末在庫	29/30年供給量	29年6月末在庫		
4=1+2-3	3	2	①		
7,396,00	1,904,000	7.306.000	1,994,000	国	全
516,12	207,788	552,663	171,252		北洋
218,02	91,573	226,252	83,350	森	青
262,05	79,743	250,815	90,985	手	岩
351,94	108,904	339,717	121,126	城	宮
399,38	126,438	400,054	125,772	H	秋
358,60	97,196	337,311	118,490	形	Щ
330,93	126,141	327,715	129,363	島	福
346,30	69,838	348,759	67,382	城	芡
279,20	91,244	273,107	97,343	木	栃
66,00	24,771	69,167	21,611	馬	群
151,86	24,068	151,573	24,355	玉	埼
282,46	51,819	289,934	44,353	葉	Ŧ
60	75	580	95	京	東
15,79	2,296	15,700	2,388		神豸
570,88	119,051	526,719	163,221	潟	新
194,69	38,983	181,950	51,731	山	富
126,77	23,772	120,201	30,344	JII	石
126,05	25,987	122,718	29,325	#	福
27,87	5,549	26,820	6,600	梨	Ш
199,28	46,919	196,901	49,304	野	長
106,00	25,733	104,909	26,828	阜	岐
82,40	10,662	80,319	12,743	岡	静
135,68	30,111	136,819	28,979	知	愛
132,16	17,073	128,853	20,381	重	Ξ
161,26	27,350	155,283	33,327	賀	滋
73,84	13,729	72,208	15,367	都	京
26.24	5,951	26,079	6.113	阪	大
177,10	35,352	175,992	36,461	庫	<u>兵</u>
44,07	10,019	44,774	9,318	良	
33,43	2,641	33,299	2,774		和哥
61,94	20,458	64,455	17,952	取	鳥
89,21	18,015	88,875	18,353	根	島
150,97	40,198	157,791	33,381	Щ.	岡
128,82	25,116	123,665	30,272	島	広
99,48	23.848	100,790	22.545		ш
52,17	7,648	53,866	5,956	島	徳
63,60	12.214	61,772	14.052	JII	香
71,94	11,038	70,347	12,640	媛	爱
54,73	8.053	54,172	8,621	知	高
183,21	39,220	178,897	43,543	岡	福
122,31	43,330	129,646	36,001	賀	佐
58.50	9,389	57,297	10,597	崎	長
171,34	42,642	169,593	44,393	本	熊
105,22	18,989	105,623	18,594	分	大
76,89	11,533	74,911	13,518	崎	宮
96,40	18,718	95.280	19,847		鹿リ
2,20	10,710	2,190	118	縪	沖

〇平成 30/令和元年(平成 30 年 7 月から令和元年 6 月まで) 〇令和元/2 年(令和元年 7 月から令和 2 年 6 月まで)

	30年6月末在庫	30/元年供給量	元年6月末在庫	全体需要量
	1	2	3	4=1+2-3
国	1,904,000	7,327,000	1,885,000	7,346,000
: 海道	207.788	489,463	190,891	506,359
森	91,573	235,311	85,350	241,534
手	79.743	265,089	81,486	263,346
城	108,904	356,421	106,570	358,754
<u> </u>	126.438	420,403	110,080	436,760
」 形	97.196	328,731	80.862	345,065
島	126,141	343,100	120,231	349,010
坂城		349,717	65,349	354,206
5 木	91,244	301,284	97,110	295,417
馬	24,771	69,953	24,149	70,575
· 王	24,068	150,626	21,177	153,517
- 葉	51,819	291,703	47,929	295,593
京	75	555	73	557
奈川	2,296	15,200	2,147	15,349
1 潟	119,051	556,970	113,051	562,969
Щ	38,983	184,666	38,605	185,044
i JII	23,772	120,157	27,357	116,573
#	25.987	125.074	31,944	119,117
梨	5,549	26,179	5,763	25,965
野		193,794	40,181	200,532
阜	25,733	102,865	21,875	106,722
) 岡	10,662	79,312	10,275	79,699
知	30,111	133,598	26,477	137,231
	17.073	135,450	20.244	132,278
質	27.350	154.818	33,341	148,827
都	13,729	70,131	12,355	71,506
阪	5,951	24,678	5,186	25,443
庫	35,352	178,726	34,427	179,651
良	10.019	43.880	9.883	44.016
歌山	2,641	31,600	2.230	32,011
取	20,458	63,269	18,288	65,439
根	18,015	90,341	18,338	90,018
Ш	40,198	152,746	37,395	155,549
島	25,116	120,476	25,115	120,477
1 0	23,848	98,727	24,936	97,639
島	7,648	52,530	6,814	53,364
JI	12,214	59,684	13,223	58,675
媛	11,038	68,951	10,385	69,604
知	8,053	50,323	6,495	51,882
岡	39,220	180,498	40,680	179,039
賀	43,330	127,590	41,719	129,201
崎	9,389	57,325	9,794	56,919
本		171,109	46,709	167,041
分	18,989	103,035	18,279	103,745
,崎		72,581	11,695	72,418
児島	18,718	87,854	21,066	85,507
- 編	108	2.200	466	1,842

北海道	
全 国 1.885,000 7,261,000 1,998,000 4,500 7,1 北海道 190,891 554,990 190,904 5 青 森 83,350 247,012 102,971 2 岩 手 81,486 267,961 106,156 42 2 宮 城 106,570 358,061 129,162 1,614 3 秋田 110,000 452,587 129,211 4 山 形 80,882 359,207 113,953 21 3 田 81,20231 338,953 142,886 1,075 3 茨 城 55,349 334,203 71,304 786 3 栃 木 97,110 288,988 92,670 426 2 群 馬 24,146 65,849 18,330 培 12,177 148,865 20,402 151 1 干 業 41,929 276,419 39,971 116 2 東 京 73 519 55	43,500 54,978 29,391 43,249 33,856 33,456 26,095
北海道 190.891 554.990 190.904 6 音音 森 85.350 247.012 102.971 2 2 2 3 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	54,978 29,391 43,249 33,856 33,456 26,095
青 森 55.350 247012 102.971 2 出 手 81.486 267.961 106.156 42 宮 城 106.570 358.061 129.162 1.614 3 秋 田 110,080 452.587 129.211 4 山 形 80.862 359.207 113.953 21 3 福 島 120.231 338.953 142.886 1.075 3 茨 城 55.349 334.203 71.304 786 3 栃 木 97.110 288.988 92.670 426 2 群 馬 24.149 65.849 18.330 青 五 21.177 148.665 20.402 151 1 千 業 47.929 276.419 39.971 116 2 東 京 73 519 59	29,391 43,249 33,856 33,456 26,095
岩 手 81.486 267.961 106.156 42 2 2	43,249 33,856 33,456 26,095
宮 城 106,570 358,061 129,162 1,614 3 秋 田 110,080 452,587 129,211 4 1 10,080 452,587 129,211 4 1 10,080 452,587 129,211 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	33,856 33,456 26,095
秋 田	33,456 26,095
山 形 80,862 359,207 113,953 21 38,853 142,886 1,075 3 茨 城 65,349 334,203 71,304 786 3 栃 木 97,110 288,988 92,670 426 2 群 馬 24,149 65,849 18,330 埼 玉 21,177 148,665 20,402 151 1 千 業 47,929 276,419 39,971 116 2 東 7 3519 59 59	26,095
福島 120.231 338.953 142.886 1,075 3 次 域 65.349 334.203 77.304 766 3 数 57.10 288.988 92.670 426 2 群 馬 24.149 65.849 18.330 境 五 21,177 148.665 20.402 151 1 千 苯 47.929 276.419 33.95	
茨城 65,349 334,203 71,304 766 3 栃木 97,110 288,988 92,670 426 2 群馬 24,149 65,849 18,330 18 18,330 151 1 </td <td></td>	
栃 木 97.110 288.988 92.670 426 2 群 馬 24.149 65.849 18.330 埼 玉 21.177 148.865 29.402 151 1 千 業 47.929 276.419 39.971 116 2 東 京 73 519 59	
群馬 24,149 65,849 18,330 埼玉 21,177 148,865 20,402 151 1 千葉 47,929 276,419 39,971 116 2 東京 73 519 59	27,462
埼 玉 21,177 148,665 20,402 151 1 千 葉 47,929 276,419 39,971 116 2 東 京 73 519 59	93,002
干業 47,929 276,419 39,971 116 2 東京 73 519 59	71,667
東京 73 519 59	49,288
	84,261
	533 14,387
神奈川 2,147 14,299 2,059 新 潟 113,051 577,726 145,846 2 5	44.929
	83,117
	22,826
	20.512
	26,317
	79,083
岐阜 21,875 103,201 26,190	98,886
静 岡 10,275 80,446 11,084	79,637
	33,057
	29,139
	56,119
京都 12,355 69,982 11,843	70,494
大阪 5,186 24,273 4,547	24,913
	79,858
	43,482
和歌山 2,230 31,398 2,096	31,532
鳥取 18,288 64,804 19,488	63,604
島根 18,338 85,738 15,102	88,974
	50,103
	12,714
	91,467
	51,134
	57,772
受缓 10.385 63.665 8.774	65,276
高知 6,495 47,512 6,009	47,998
	66,450
佐賀 41,719 70,276 30,951 長崎 9,794 51,813 7,529	81,044 54,078
	67,700
振 本 46,709 155,966 34,975 大 分 18,279 88,888 13,035	94,133
宮崎 11,695 67,579 9,831	69,443
	86,223
連	2,000

				(単位:トン)
	2年6月末在庫	2/3年供給量	3年6月末在庫	全体需要量
	1	2	3	4=1+2-3
全 国	1,998,000	7,226,000	2,184,000	7,040,000
北海道	190,904	556,376	241,831	505,449
青森	102,971	240,389	109,140	234,220
岩 手	106,156	267,245	110,000	263,402
宮城	129,162	356,193	153,268	332,086
秋田	129,211	455,597	141,724	443,083
山 形	113,953	352,790	120,784	345,959
福島	142,886	332,706	132,227	343,365
茨 城	71,304	347,932	78,416	340,820
栃木	92,670	295,592	127,105	261,157
群馬	18,330	67,490	20,117	65,703
埼玉	20,402	151,981	28,135	144,248
千 葉	39,971	281,290	61,603	259,658
東京	59	496	58	497
神奈川	2,059	14,200	1,966	14,293
新潟	145,846	596,741	150,387	592,200
富山	40,343	184,817	52,932	172,227
石川	25,879	120,115	34,610	111,384
福井	33,839	121,272	31,522	123,589
山梨	5,554	25,413	5,047	25,920
長 野	52,837	186,518	53,175	186,180
岐阜	26,190	100,737	23,078	103,850
静岡	11,084	73,356	10,073	74,367
愛知	25,986	129,170	25,919	129,236
三 重	19,407	128,260	19,863	127,804
滋賀	31,385	151,740	34,827	148,299
京都	11,843	68,958	13,700	67,100
大 阪	4,547	22,174	4,169	22,552
兵 庫	33,868	169,921	35,251	168,538
奈 良	9,876	40,689	8,843	41,722
和歌山	2,096	28,896	1,951	29,042
鳥取	19,488	65,510	22,381	62,618
島根	15,102	85,542	17,720	82,924
围	39,469	147,112	38,547	148,034
広島	23,233	109,908	25,578	107,562
山口	20,788	69,191	14,067	75,912
徳島	6,643	51,495	7,878	50,260
香川	11,688	57,768	12,722	56,733
愛媛	8,774	63,161	9,015	62,920
高知	6,009	48,483	6,371	48,120
福岡	30,740	142,820	29,867	143,694
佐賀 善	30,951	102,161	29,017	104,095
長崎	7,529	46,716	7,463	46,783
熊本	34,975	151,591	36,144	150,423
大 分	13,035	80,692	12,726	81,000
宮崎	9,831	67,666	10,204	67,293
鹿児島	17,843	81,546	19,172	80,217
沖 縄	441	2,029	515	1,955

〇令和2/3年(令和2年7月から令和3年6月まで) ○令和3/4年(令和3年7月から令和4年6月まで)

					(単位:トン)
		3年6月末在庫	3/4年供給量	4年6月末在庫	全体需要量
		1	2	3	4=1+2-3
全	玉	2,184,000	7,007,000	2,176,000	7,015,000
北海	道	241,831	531,123	238,910	534,044
青	森	109,140	210,291	85,430	234,001
岩	手	110,000	256,148	112,463	253,685
宮	城	153,268	333,566	141,652	345,182
秋	皿	141,724	423,474	147,582	417,616
Щ	形	120,784	344,919	117,937	347,766
福	島	132,227	302,928	111,408	323,746
- 茨	城	78,416	333,745	79,289	332,872
栃		127,105	277,763	129,577	275,292
群	馬	20,117	63,950	19,885	64,182
埼エ	<u></u>	28,135	146,433	26,126	148,443
<u>+</u>	葉	61,603 58	263,712 486	44,710 56	280,605 489
東神奈	京	1,966	14.400	2.059	14.308
新	潟	150,387	536,604	133,258	553,734
富	山	52,932	177,733	45.520	185,145
石	川	34,610	112,870	34,796	112,684
福	#	31,522	115,933	30.325	117,131
Ш	梨	5,047	25,339	4,796	25,590
長	野	53,175	183,798	51,046	185,928
岐	阜	23,078	99,283	26,560	95,801
静	岡	10,073	76,637	11,097	75.613
愛	知	25,919	127,519	26,943	126,495
Ξ	重	19,863	128,483	21,519	126,827
滋	賀	34,827	150,171	35,235	149,763
京	都	13,700	68,583	10,771	71,513
大	阪	4,169	22,574	4,401	22,342
兵	庫	35,251	171,247	34,379	172,118
奈	良	8,843	42,965	10,532	41,276
	山	1,951	30,296	2,274	29,973
鳥	取	22,381	63,053	24,232	61,202
島	根	17,720	85,722	19,815	83,627
岡	Щ.	38,547	146,871	35,768	149,650
広	훀.	25,578	113,415	30,080	108,913
山		14,067	87,991	25,204	76,854
徳	島.	7,878 12,722	46,377	7,103	47,152 55.088
香	ᄪ	12,722 9,015	56,378 67,086	14,012 11,434	55,088 64,667
	媛	6.371	49,169	7,432	48,108
福	岡	29,867	160,707	48.120	142,454
佐	智	29,017	116,291	43,120	102,207
長	崎	7,463	50,700	10,887	47,276
熊	本	36,144	150,227	41,469	144,902
大	分	12,726	94,671	18,638	88,759
宮	崎	10,204	66,926	15,075	62,055
鹿児		19,172	82.077	22,920	78,329
沖	縄	515	2,034	539	2,010

〇令和4/5年(令和4年7月から令和5年6月まで)

〇令和5/6年(令和5年7月から令和6年6月まで)

- /	25	14	L	٠.	

		4年6月末在庫	4/5年供給量	5年6月末在庫	全体需要量
		①	2)	3年0月末任庫	4)=(1)+(2)-(3)
全	回	Ţ		~	
	国	2,176,000	6,701,000	1,966,000	6,911,000
	毎道	238,910	492,410	197,649	533,671
青	<u>森</u>	85,430	199,761	82,685	202,506
岩	手	112,463	234,467	93,712	253,218
宮	城	141,652	306,422	116,809	331,266
秋山	田形	147,582 117,937	382,107 312,873	110,100 108,951	419,589
福	島	117,937	285,160	103,536	321,859 293,032
茨	城	79,289	310,169	78,383	311,075
栃	木	129,577	245,152	100,335	274,393
群	馬	19.885	62.675	22.884	59,676
埼	玉	26,126	136,502	26,131	136,497
千	莱	44,710	246,804	35,697	255.817
東	京	56	484	54	486
	条 川	2,059	14,400	2,061	14,398
新	潟	133,258	543,588	140,428	536,418
富	山	45,520	174,572	49,113	170,979
石	Ш	34,796	110,303	34,397	110,702
福	#	30.325	111.216	25,296	116,245
E	梨	4.796	24,992	5,096	24,693
長	野	51.046	180.898	49,608	182,335
岐	阜	26,560	97,670	29,285	94,945
静	岡	11,097	75,936	11,211	75,822
愛	知	26,943	127,909	26,221	128,631
Ξ	重	21,519	129,195	17,585	133,128
滋	賀	35,235	145,507	32,071	148,671
京	都	10,771	68,937	10,742	68,966
大	阪	4,401	22,774	4,487	22,689
兵	庫	34,379	172,343	34,039	172,683
奈	良	10,532	43,608	11,697	42,443
	欧 山	2,274	30,996	2,933	30,337
鳥	取	24,232	61,580	18,230	67,582
島	根	19,815	83,388	19,104	84,099
岡	Щ	35,768	143,145	34,745	144,167
広	島	30,080	111,783	27,939	113,924
三		25,204	87,309	27,546	84,967
徳	島	7,103	46,077	5,947	47,233
香	쁘	14,012	55,211	11,238	57,985
愛	媛	11,434	68,406	13,966	65,874
高!	知	7,432	49,183	7,064	49,551
福	岡	48,120	160,956	44,526	164,550
- 佐	賀	43,101	114,631	41,133	116,599
長	崎	10,887	48,828	8,652	51,063
. 態		41,469	150,881	34,770	157,581
츳	分	18,638	92,470	16,798	94,309
宮田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	崎	15,075	65,220	11,129	69,165
鹿リ沖		22,920	79,147 1.825	23,523 505	78,544
74	縄	539	1,825	505	1,858

					(単位:トン)
		5年6月末在庫	5/6年供給量	6年6月末在庫	全体需要量
		1	2	3	4 =1+2-3
全	王	1,966,000	6,610,000	1,527,000	7,049,000
北;	海道	197,649	478,803	142,486	533,967
青	綝	82,685	208,000	58,803	231,882
岩	手	93,712	236,200	77,883	252,030
宮	城	116,809	324,639	90,874	350,574
秋	田	110,100	385,738	83,128	412,709
典	形	108,951	308,478	85,791	331,638
福	島	103,536	298,348	94,015	307,870
茨	城	78,383	306,109	57,155	327,338
栃	- 木	100,335	262,047	83,238	279,144
群	馬	22,884	62,302	15,612	69,574
- 埼 - 千	<u> </u>	26,131 35,697	132,391 254,846	16,254 28,049	142,269
東	葉	35,697 54	254,846 465	28,049 51	262,493 467
	京 京	2,061	14,200	1,944	14,317
新	湯湯	140,428	511,781	121,341	530,867
	山	49,113	164,284	37,458	175,938
<u>富</u> 石	川	34.397	107,779	28,905	113,270
福	#	25,296	106,939	19,168	113,067
Щ	梨	5,096	25,212	4,682	25,626
長	野	49,608	180,257	44.654	185,211
岐	阜	29,285	95,610	19,506	105,389
静	岡	11,211	77,787	9,317	79,681
愛	知	26,221	118,572	20,122	124,670
Ξ	重	17,585	124,626	13,485	128,727
滋	旗	32,071	137,028	20,870	148,229
京	都	10,742	66,252	7,908	69,086
大	阪	4,487	22,275	3,661	23,100
兵	庫	34,039	165,611	29,973	169,678
奈	良	11,697	42,473	8,379	45,791
	歌 山	2,933	29,196	1,967	30,162
鳥	取	18,230	56,507	15,218	59,518
島	根	19,104	81,403	12,573	87,934
岡	Щ.	34,745	138,797	27,556	145,987
広	島	27,939	110,222	19,697	118,464
山	島	27,546	81,872	17,694	91,724
<u>徳</u> 香	- 島	5,947	44,419 50,178	3,824	46,541 54,047
登	媛	11,238 13,966	64,394	7,369 10,177	54,047 68,182
高	知	7,064	46.295	6,086	47,274
福	岡	44,526	154,504	33,998	165,033
佐	賀	41,133	113,145	33,903	120,375
長	崎	8,652	48,717	7,248	50,121
熊	本	34,770	149,591	30,796	153,564
大	分	16,798	89,013	12,259	93,552
宮	崎	11,129	60,691	7,043	64,778
鹿	児島	23,523	76,650	13,948	86,226
沖	縄	505	1,732	454	1,783

注1:令和元/2年の都道府県別の需要量に、台風等被害分4.5千トンは含まれていない。

2:全国欄は、産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、都道府県の合計と一致しない。

3:ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

今回の基本指針の変更のポイント

【令和5/6年の主食用米等の需給実績(速報値)】

(単位・万トン)

		(単位:カトノ)
令和5年6月末民間在庫量	А	197
令和5年産主食用米等生産量	В	661
令和5/6年主食用米等供給量計	C=A+B	858
令和5/6年主食用米等需要量	D	702
令和6年6月末民間在庫量	E=C-D	156

【令和6/7年の主食用米等の需給見通し】

(単位:万トン)

		(十四・カーン)
令和6年6月末民間在庫量	Е	156
令和6年産主食用米等生産量	F	669
令和6/7年主食用米等供給量計	G=E+F	825
令和6/7年主食用米等需要量	Н	673
令和7年6月末民間在庫量	I=G-H	152

注1:上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、

SBS方式による輸入米は含まれない。

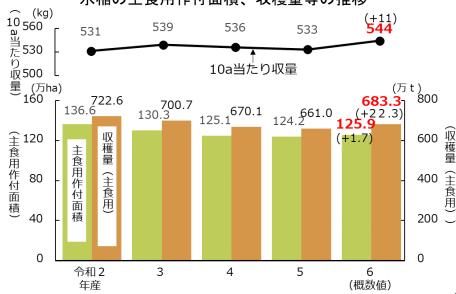
注2:ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

主食用米の需要量の推移

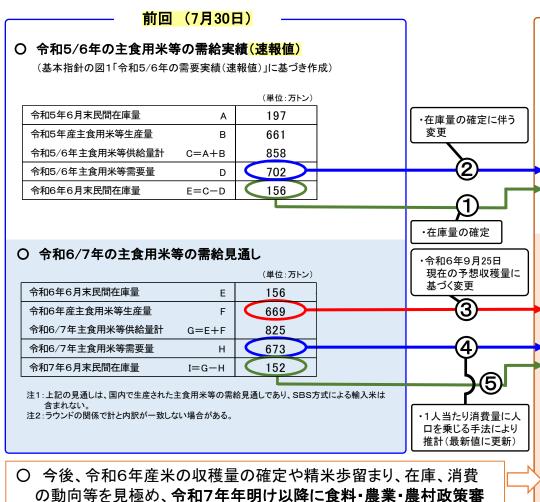


注: R 5 / 6 年は令和 6 年 7 月公表の基本指針における令和 5 / 6 年の需要実績(速報値)である。

水稲の主食用作付面積、収穫量等の推移



注:10a当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量(令和6年産は 予想) である。



議会食糧部会を開催し、令和7年から令和8年にかけての需給見通

しの見直しについて、改めて諮問することとします。

今回(10月30日)

〇 令和5/6年の主食用米等の需給実績(確定値)

(基本指針の図1「令和5/6年の需要実績(確定値)」に基づき作成)

		(単位:万トン)
令和5年6月末民間在庫量	Α	197
令和5年産主食用米等生産量	В	661
令和5/6年主食用米等供給量計	C=A+B	858
令和5/6年主食用米等需要量	D	705
令和6年6月末民間在庫量	F=C-D	153

〇 令和6/7年の主食用米等の需給見通し

(単位: 万トン)

				,
令和6年6月末民間在庫量	Е		153	
令和6年産主食用米等生産量	F		683	V
令和6/7年主食用米等供給量計	G=E+F		836	
令和6/7年主食用米等需要量	Н	V	674	
令和7年6月末民間在庫量	I=G-H	V	162	
	令和6年産主食用米等生産量 令和6/7年主食用米等供給量計 令和6/7年主食用米等需要量	令和6年産主食用米等生産量 F 令和6/7年主食用米等供給量計 G=E+F 令和6/7年主食用米等需要量 H	令和6年産主食用米等生産量 F 令和6/7年主食用米等供給量計 G=E+F 令和6/7年主食用米等需要量 H	令和6年產主食用米等生產量 F 683 令和6/7年主食用米等供給量計 G=E+F 836 令和6/7年主食用米等需要量 H 674

〇 令和7/8年の主食用米等の需給見通し

・令和6年産の 生産実績(令 和6年9月25 日現在の予想 収穫量)と同 水準の生産量

・1人当たり消費 量に人口を乗

じる手法により

推計

			(単14):力	トン)	
令和7年6月末民間在庫量	I		162		_
令和7年産主食用米等生産量	J		683		ϵ
令和7/8年主食用米等供給量計	K=I+J		846		
令和7/8年主食用米等需要量	L	V	663		4
令和8年6月末民間在庫量	M=K-L		182		(8
					_

注2:ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

注1:上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式による輸入米は

主食用米等の需要の見通し

・ 直近の5/6年の需要実績を用いて、6/7年及び7/8年の需要見通しを、30年11月の基本指針において採用した手法(1人当たり消費量(推計値) (円に人口(推計値)を乗じる手法)により算出すると、6/7年は674万トン、7/8年は663万トンの見通しとなる。

【前回(7月30日)】

		6/7年
1人当たり消費量(推計値)	1	54.4kg
		6年
人口(推計値)	2	123,788千人
		6/7年
需要見通し	①×②	673.4万トン

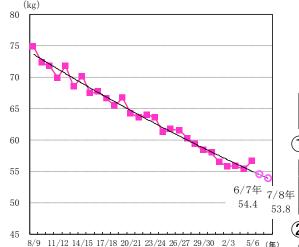
【今回(10月30日)】

6/7年	7/8年
54.4kg	53.8kg
6年	7年
123,780千人	123,198千人
6/7年	7/8年
673.7万トン	663.4万トン

年	需要 実績	人口	1人当たり 消費量
	1	2	1)/2
	万トン	千人	kg
8/9	943.8	125,859	75.0
9/10	912.9	126,157	72.4
10/11	907.3	126,472	71.7
11/12	885.9	126,667	69.9
12/13	911.5	126,926	71.8
13/14	872.1	127,316	68.5
14/15	894.7	127,486	70.2
15/16	861.6	127,694	67.5
16/17	865.4	127,787	67.7
17/18	851.7	127,768	66.7
18/19	837.5	127,901	65.5
19/20	854.5	128,033	66.7
20/21	823.6	128,084	64.3
21/22	814.1	128,032	63.6
22/23	820.0	128,057	64.0
23/24	813.3	127,834	63.6
24/25	781.1	127,593	61.2
25/26	786.6	127,414	61.7
26/27	782.5	127,237	61.5
27/28	766.2	127,095	60.3
28/29	754.0	127,042	59.4
29/30	739.6	126,919	58.3
30/元	734.6	126,749	58.0
元/2	714.4	126,555	56.4
2/3	704.0	126,146	55.8
3/4	701.5	125,502	55.9
4/5	691.1	124,947	55.3

注:人口は、総務省「人口推計」の各年10月1日 現在の値である。

704.9



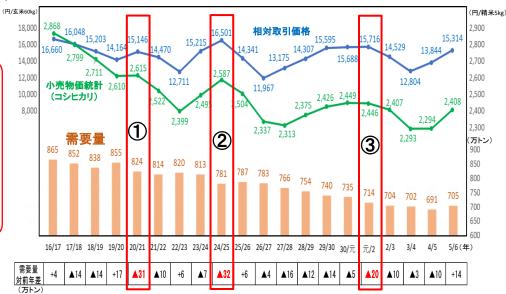
※6/7年、7/8年の1人当たり消費量を5/6年の実績を踏まえ推計

<推計式> y = 74.49197e^{-0.01084}× R² = 0.9783

 $y = 74.46928e^{-0.01081x}$ $R^2 = 0.9774$

過去における米価と需要の関係

【主食用米の需要量と相対取引価格・小売物価統計の推移】



- ※1 相対取引価格は、当路年産の出回)から翌年10月まで(5年産は出回)から今和6年9月までの連軸値)の通年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。 なお、17年定以前に(別)全国米穀取引・価格形成センター入札結果に基づく取引価格である。 ※2 小売物価値計(コンセカリ)は、総務省(小売物価値計)動(組による東京都区部における精米価格(7日以内の特売分を除く)であり、包装代、消費税相当額が含まれている。

【需要減の背景】

<需要の状況>

平成20/21年の需要実績は824万トンと、前年実績差▲31万トン(▲3.6%)。

<米価の状況>

- · 食料の消費者物価指数が前年比+2.5%、うち、パンは前年比+10.1%、麺類は前年比+8.8%に対して、 米は前年比+0.7%。
- ・ 平成20年産米の相対取引価格は15,146円/60kgで、前年比十982円、十6.9%。
- ・ 精米小売価格(コシヒカリ)は2,615円/5kgで、前年比+5円、+0.2%。

<需要の状況>

- 平成24/25年の需要実績は781万トンと、前年実績差▲32万トン(▲4.0%)。
 <米価の状況>
- · 食料の消費者物価指数が前年比▲1.1%、うち、パンは前年比▲2.7%、麺類は前年比▲1.8%に対して、米は前年比十7.5%。
- ・ 平成24年産米の相対取引価格は16,501円/60kgで、前年比十1,286円、十8.5%。
- 精米小売価格(コシヒカリ)は2,587円/5kgで、前年比+92円、+3.7%。

<需要の状況>

- 令和元/2年の需要実績は714万トンと、前年実績差▲20万トン(▲2.7%)。 <米価の状況>

コロナの影響

- · 食料の消費者物価指数が前年比+1.4%、うち、パンは前年比±0.0%、 麺類は前年比+3.2%に対して、米は前年比+0.6%。
 - ・ 令和元年産米の相対取引価格は15,716円/60kgで、<mark>前年比十28円、十0.2%</mark>。
- ・ 精米小売価格(コシヒカリ)は2,446円/5kgで、前年比▲4円、▲0.1%。
- 注1 需要実績は、当年7月から翌年6月までの主食用米等の需要量。(資料:農林水産省「米穀の需給及び価格に関する基本指針」)
- 注2 消費者物価指数は、月次データの当年7月から翌年6月までの指数を単純平均により算出。(資料:総務省「消費者物価指数(2020年基準)」) 注3 精米小売価格は、月次データの当年7月から翌年6月までの価格(東京都区部におけるコンヒカリの価格)を単純平均により算出。(資料:総務省「小売物価統計動向編1)

① 令和6年6月末民間在庫量【156万トン → 153万トン】

- ・「令和6年6月末民間在庫量」のうち、生産段階の在庫量について、改めて10月29日公表の「生産者の米穀在庫等調査結果」の「6月30日現在における在庫量」 の確定値を基に推計(27.4万トン→24.8万トン)。
- ・ 出荷段階及び販売段階の在庫量について、速報値から確定値に更新(128.3万トン→127.9万トン)。
- これらにより、「令和6年6月末民間在庫量」を変更(確定)(「153万トン」)。

② 令和5/6年主食用米等需要量 【702万トン → 705万トン】

上記①に伴い、令和5/6年主食用米等需要量を変更(確定)(「705万トン」)。

③ 令和6年産主食用米等生産量【669万トン → 683万トン】

・ 令和6年9月25日現在の予想収穫量に基づき変更(「683万トン」)。

④ 令和6/7年主食用米等需要量【673万トン → 674万トン】

・ ②の令和5/6年主食用米等需要量の確定値等を用い、改めて平成30年11月基本指針以降に採用している手法(1人当たり消費量(推計値)に人口(推計値) を乗じる手法)により算出し変更(「674万トン」)。

⑤ 令和7年6月末民間在庫量 【152万トン → 162万トン】

上記①~④により、令和7年6月末民間在庫量を変更(「162万トン」)。

⑥ 令和7年産主食用米等生産量【683万トン】

・ 令和6年産の生産実績(令和6年9月25日現在の予想収穫量)と同水準の「683万トン」と設定。

⑦ 令和7/8年主食用米等需要量【663万トン】

・ ②の直近までの需要実績(確定値)を用い、④と同様、従来の算出方法 (1人当たり消費量(推計値)に人口(推計値)を乗じる手法) により算出し、「663万トン」 と設定。

⑧ 令和8年6月末民間在庫量 【182万トン】

・ 上記⑤~⑦により、令和8年6月末民間在庫量を「182万トン」と設定。

○ 今後、令和6年産米の収穫量の確定や精米歩留まり、在庫、消費の動向等を見極め、令和7年年明け以降に食料・農業・農村政策審議会食糧部会を開催し、令和7年から令和8年にかけての需給見通しの見直しについて、改めて諮問することとします。

令和6年産米の総括と7年産米に向けた取組方針について

1 令和6年産米の総括

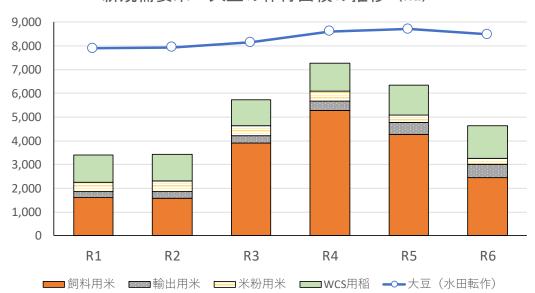
- 県再生協では、6年産米の取組方針として、「地域再生協による需要に応じた生産の推進」と「事前契約の早期締結」、「販売数量の早期見極めと非主食用米等への振り分け」、「情報提供及び普及啓発」を定め、地域再生協との連携により、状況把握を行うとともに、方針作成者等に対して、個別訪問等による働きかけを行った。
- 生産段階では、需要に応じた生産を推進するため、新規需要米、とりわけ飼料用米 の産地交付金県推進枠の対象要件を拡充し、積極的な振り分けを推進した。

しかしながら、2年連続の不作と堅調な主食用米の需要を背景に、飼料用米や米粉用米、備蓄米等の取組が減少し、6年産米の主食用米面積は、前年より2,300ha増加の72,200haとなった。

- 集荷段階では、主食用米の需要が堅調に推移している状況を踏まえ、確実な需要を 見極めた事前契約の締結を推進したことから、卸売業者等との事前契約率を前年並に 確保している。
- 〇 令和6年6月末の県産米の在庫量は、5年産米の作付転換と不作(作況97)の影響により、前年同期から27千トン減少の83千トンとなった。
 - 一方、6年産米の作況指数が102となり、生産量は420千トンと5年産米の需要量を7千トン上回った。

【取組状況】

新規需要米・大豆の作付面積の推移(ha)



2 令和7年産米に向けた取組方針

国の基本指針によると、令和7年6月末在庫は、前年同期より9万トン増加の162万トンと見通されている。

本県においては、行政と方針作成者等が一体となって作付転換や販売促進に取り組んでおり、直近の主食用米の需要は堅調に推移している。こうした需給環境を維持するため、引き続き、確実な需要に基づいた米の生産を推進する。

(1) 地域再生協による需要に応じた生産の推進

- 各地域の生産の目安を設定するに当たり、県段階の目安や方針作成者の販売状況等を参考にしつつ、各方針作成者の令和6年産米の取組実績を分析するなど、十分な検討を行う。
- 県再生協との連携により、方針作成者等の事前契約の締結状況を把握するととも に、非主食用米に係る制度活用の働きかけや、適時適切な需給情報の提供に努める。
- 大豆等の土地利用型作物や野菜等の定着性の高い品目、需要拡大が見込まれる品目への転換、さらには、団地化による田畑輪換や畑地化の推進など、産地の中長期的な方向性を検討する。
- また、食料自給力の向上に資する生産計画の推進するため、地域ぐるみによるブロックローテーションを実施するなど、連作障害の回避に努め、生産性の向上を図る。

(2) 事前契約の早期締結

○ 方針作成者は、県及び地域の生産の目安を参考にしつつ、現下の需給状況等を踏まえ、早期に確実な需要を見極めることができるよう、卸売業者等との事前契約(原則として播種前)の締結を推進する。

なお、卸売業者等との交渉においては、令和5・6年産米の販売動向を確認する など、翌年に持ち越さないよう配慮する。

○ 事前契約は、数量だけでなく価格も含めた書面により締結するものとし、可能な限り卸売業者等に加え実需者を含めた三者契約、さらには複数年契約の取組を拡大する。なお、価格については、相手先と十分調整の上、現下の需給状況を踏まえ設定する。

(3) 販売数量の早期見極めと非主食用米等の制度活用

○ 方針作成者は、事前契約を踏まえた適正な販売数量を把握するとともに、それを 超過する米については、非主食用米に係る制度を活用し、備蓄米や新規需要米等へ

- の取組を推進する(事前契約等のスケジュール参照)。
- 県は、産地交付金県推進枠の設定を通じて、農業者が自らの経営判断により転換 品目を幅広く選択できるよう支援する。

【事前契約等のスケジュール】

サロックペルン							
時期	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
		目標		目標			目標
事前契約 進捗管理	園芸品目、大豆等への	確約 8 割		書面 6 割			書面 8 割
	転換を検討		非主食用(備蓄、飼料等)、大豆へ				
備考		備 蓄 米 入札開始		販売情報 提 供			営農計画 提出期限

[※]契約率は、過去の集荷状況等を踏まえ適宜引き上げること。

(4) 情報提供及び普及啓発

- 県再生協は、農業者向けのチラシを作成するとともに、専門部会における研修会 等を開催する。
- また、方針作成者の振り分けの判断に資するため、全国及び県産米の最新の需給 動向を内容とする秋田米レポートの発行等により、情報提供に努める。
- 県再生協は、地域再生協と連携して各方針作成者を巡回し、需要に基づいた米の 生産に関する普及啓発を強化する。

く参考>

令和6年産米の事前契約状況等について (集荷業者アンケート結果)

図 事前契約数量

	◆ 生産量 42.0万トン 作況指数 102	
6 年	販売計画数量 29.2万トン	
産米	書面による事前契約数量 21.4万トン (73%)	提家直売・飯米等 万トン 12.8万トン [7%]
5	生産量 38.6万トン 作況指数97	
年	販売計画数量28.5万トン	弗克夫夫
産 米	書面による事前契約数量 21.7万トン (76%) 3.6万トン 3.2	製約 農家直売・飯米等
4	◆ 生産量 38.3万トン 作況指数95	
年	販売計画数量29.6万トン	
産米	書面による事前契約数量 23.1万トン (78%)	契約農家直売・飯米等万トン8.7万トン'9%')
	(1070)	

[・] ※ 生産量から販売計画数量を減じた数量を「農家直売・販売等」としており、販売計画を超えた集荷があった 場合は変更となる。

令和7年産米の「生産の目安」について

1 算定方法

本県の「生産の目安」は、

- ・全国生産量と県産米シェア(平年データ)から算出した数値(**目安A**)
- ・需給動向(直近データ)と在庫量から算出した数値(目安日)

これらの中間値を基本に、必要に応じて販売状況を踏まえ補正を行い設定している。

2 算定に用いる数値

(1) 需要量と県産米シェア

直近7カ年の県産米シェアと7中5平均

世世ノガーの水圧ホノエノとバーの								
年産米	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	7中5 平均
全国(トン)	7,396,000	7,346,000	7,143,500	7,040,000	7,015,000	6,911,000	7,049,000	-
秋田県(トン)	399,388	436,760	433,456	443,083	417,616	419,589	412,709	-
県産米シェア(%)	5.4001	5.9455	6.0678	6.2938	5.9532	6.0713	5.8549	E 070E
平均値採用	×	0	0	×	0	0	0	5.9785

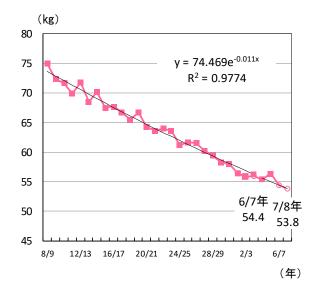
出典:米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針(令和6年10月)

(2) 国の需要見通し(国によるトレンド推計)

令和6/7年及び7/8年の全国の需要見通しは、1人当たり消費量(推計値)に 人口(推計値)を乗じる手法により算出されており、6年産米は673.7万トン、7年産米は663.4万トンとしている。

全国の令和6/7年及び7/8年の需要見通し(推計値)

		6/7年	7/8年
1人当たり消費量(推計値)	а	54.4kg	53.8kg
人口(推計値)	b	123,780千人	123,198千人
需要見通し	c = a × b	673.7万トン	663.4万トン



(3) 県産米の需要見通し

令和6/7年及び7/8年の需要見通しは、昨今の県内集荷団体の販売動向を鑑み、 5/6年の需要並に据え置くこととする。

	5/6年実績	6/7年見通し	7/8年見通し
全 国	704.9万トン	673.7万トン	663.4万トン
秋田県	412,709トン	412,000トン	412,000トン

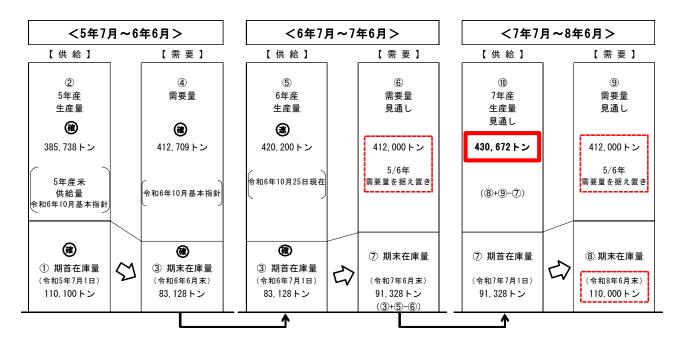
3 令和7年産米の「生産の目安」の算出

(1) 目安A:全国生産量と県産米シェアから算出した数値

①令和7年産主食用米等生産量	②7年産米(県目安A)		
(国見通し)	(①×県産米シェア5.9785%)		
683 万トン	408,332 トン		

(2) 目安B:県産米の需給動向と在庫量から算出した数値

県産米の需要見通しについては、5/6年の需要並に据え置くこと、令和8年6月末在庫量については、新米の出回りが本格化するまでの安定供給と米価の安定を図るための必要量として、<u>適正在庫量($10\sim12$ 万トン)の中間値である11万トンとする。</u>



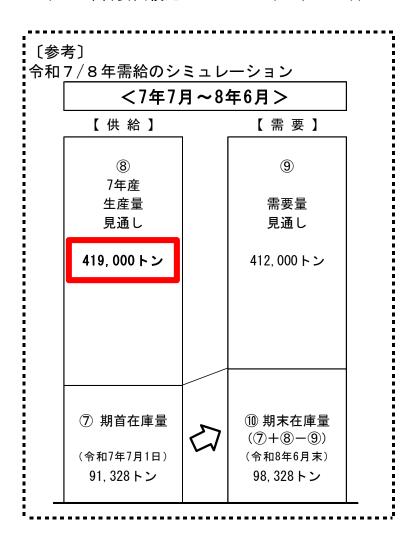
(3) 目安Aと目安Bの中間値

県目安A県目安B	旧日 立 D	中間値		
	(A+B) ÷2			
408,332トン	430,672 トン	419,502トン	÷	419,000トン

(4) 令和7年産の「生産の目安」

令和7年産米「生産の目安」 419,000トン (面積換算値) (72,617 ha) *面積は「生産の目安」を県平年収量(577kg/10 a)で除して算出

R6年実績面積比 100.6% (+417ha) (R6年目安面積比 104.4% (+3.068ha))



令和7年度産地交付金の県推進枠の設定について

- 国からの配分額の2割を県推進枠で活用し、残りの8割を地域推進枠で活用する。
- 1 作付拡大に対する助成 (大豆、飼料用米、新市場開拓用米 (輸出用米)等)

【助成要件】対象品目の前年からの拡大面積が30 a 以上、かつ生産性向上等に取り組むこと。

【変 更 点】輸出用米の単価を 3,000円増額し、18,000円程度/10 a とする。

【変更理由】地域から要望があるとともに、近年、取組が拡大していることから、支援 することとする。

【助成単価】大 豆: 16,000円程度/10 a

重点野菜: 32,000円程度/10 a

(えだまめ、ねぎ、アスパラガス、トマト、きゅうり、すいか)

飼料用米: 15,000円程度/10 a

輸出用米: 15,000円程度/10 a → 18,000円程度/10a

米粉用米: 15,000円程度/10 a WCS用稲: 15,000円程度/10 a

2 飼料用米の複数年契約に対する助成

【助成要件】3年以上の複数年契約に取り組むこと(契約初年度限り対象)。

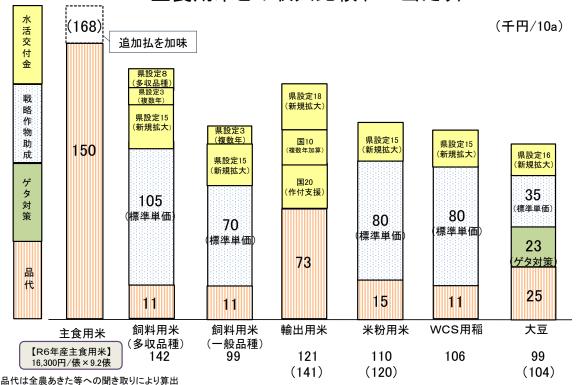
【助成単価】飼料用米: 3,000円/10 a

3 多収品種(飼料用米)の作付に対する助成

【助成要件】多収品種(秋田63号、ふくひびき、べこあおば等)の作付に取り組むこと。

【助成単価】飼料用米: 8,000円/10 a





()内は、コメ新市場開拓等促進事業等に採択された場合